

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

世界の中の日本。科学・文化の諸相に彼我の風土の違いを発見した人物
(科学・技術分野)

湯川の希望と苦悩 : 秀樹のこころ模様

講師： **佐藤 文隆** 先生

【講演要旨】

第25回の講演では、「大戦で国家主義の幻滅を味わった国民の新たな統合のシンボルの一つとして生きることで、湯川秀樹は日本の戦後復興に貢献した。こうした歴史は国民国家での科学者がもちうる稀有な経験であり、それを広く国民が共有する“制度的装置（紙幣肖像、科学単位系など）”にとどめていく工夫が必要である」ことを述べた。

今回は、“制度的装置”の話に加え、「シンボルとして生きる」表の行動の垣間みせた湯川のこころ模様に思いを致してみる。「青年湯川」「天才湯川」「戦中戦後」「原子力委員会」「梅園旧居訪問」「渾沌会」「叙勲」などの事例を取り上げて講演者の個人的想像を語る。

【講師略歴】

1938年山形県生まれ。京都大学名誉教授。日本物理学会会長、日本学術会議会員、湯川記念財団理事長などを歴任。専攻は理論物理学。著書に『科学者には世界がこう見える』（青土社2014）、『破られた対称性』（PHPサイエンス・ワールド新書2014）、『科学と人間 科学が社会にできること』（青土社2013）、『職業としての科学』（岩波新書2011）、「アインシュタインの反乱と量子コンピュータ」（京大学術出版会2009）、『夏はなぜ暑いのか』（岩波書店2009）、など多数。

日時： 2015年 **10**月**27**日（火）**18:00**～20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000**円（交流・懇談会費用を含む）

定員： **40**名（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込： 「参加申込書」（裏面）によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

10月16日(金)

必着

IIAS 公益財団法人
国際高等研究所
International Institute for Advanced Studies

けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋の文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

第**28**回

満月の夜開く
けいはんな哲学カフェ

ゲーテの会



J. W. von GOETHE

参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

公益財団法人国際高等研究所 事業部

けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第 28 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2015 年 10 月 27 日 (火) 開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

